

## 白浜レスキューネットワーク通信 2月号

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 3137-8

TEL&amp;FAX0739-43-8981

<http://srnw.or.jp>e-mail [yabiumi@gmail.com](mailto:yabiumi@gmail.com)

理事長 藤藪庸一

郵便振替 00920-6-85589 口座名：白浜レスキューネットワーク  
 紀陽銀行白浜支店普通預金 589389 口座名：NPO特定非営利活動法人  
 白浜レスキューネットワーク

### 自殺者救済活動

2月1日～2月28日

電話件数 135件

メール相談 5人

保護件数 3件(男性 3名)

○2日、朝早くに電話があり男性を保護した。生きることに疲れたという。70代。

○8日、男性を保護。他のNPOが運営する施設で住まわせてもらっていたが、周りの人との関係が悪化し、退所しなければならない状態になった。そのNPOから相談を受けた行政が、当NPOに受け入れ要請をしてきた。その日の夜から受け入れることに。

○25日、男性を保護。以前から電話やメールなどで相談にのっていた男性。鬱々して死にたくなる悪循環を改善することを目指すことに。

### 生活自立支援活動

2月1日～2月28日

滞在者数 16人(男性 12人、女性 4人)

○コンビニとまちなかキッチンで働く20代女性は、未だにバイトに遅刻することなく行くことができている。そろそろ次のステップへ移りたいが、ここのところ、泣いている姿を見ることがあり、何か苦しいことやつらいことがあるのではと話を聞いている。毎年、春になると調子を崩すので、ここは要注意だ。

○先月インフルエンザになった男性は、体力的にも随分回復し、先日久々にゴミ袋と火箸を持って町内をゴミ拾いする姿を見ることができた。何人かの人に声をかけてもらったようで、またこれから励みになるといいと思う。今月から定期的な通院もヘルパーさんに付き添ってもらえるようになり助かっている。

食欲もあり元気だ。

○作業所に通っている男性は、隣町のアパートに移ることを検討し手続きを行っている。ずっと関わっている障害者の自立を支援する働きをしている担当者は、依存的な男性を一人ぐらしさせて、依存したくても自分で頑張らなければならない状況を作って訓練したいと考えている。生活費は障害年金の申請や足りない分は生活保護でと考えている。

○コンビニとまちなかキッチンで働いている30代男性は、以前働いていたところから、人手が欲しいからうちで働かないかと声がかかっているようだ。住むところ、正社員としての待遇など条件は良さそうだ。

しかし、なぜいつも続かなくなるのか、なぜ当NPOでは今のところうまくいっているのか、本人と詰めて話して、自分の問題点をしっかり認識させないといけないと思う。せっかくの話も、また同じように失敗に終わる可能性がある。○お菓子屋さんに仕事に行っている男性は、借金の返済が今年中には終わりそうだ。それまでには、正社員になれそうで、寮があれば寮へ移ることも考えられるところまで来た。人とのコミュニケーションの取り方が下手で、その点をしっかり手を入れていく必要がある。今までも社内で問題が起きないように黙って様子を見ることを勧めてきたが、自分の意見を上手に相手に伝えられるように訓練していきたい。

○糖尿病を患っている男性は、ここのところまちなかキッチンでの仕事の様子を見てみると元気がない。ミスが多い自分に嫌になっているか、ちょっと後ろ向きになっているのではないかと思う。それで、何度か話をしようと持ち掛

けているが、今のところゆっくりひざを突き合わせて話し合うことはできていない。ただ、本人は「まったく大丈夫です」と言っているが気になる。

ただ、細々したミスが多いのは事実。その都度、自分には向いていないと思っているとしたら、精神的に良い状態ではない。早めに話を詰めた

い。  
○豆腐屋とまちなかキッチンと新聞夕刊配達と3つ掛け持ちしている男性は、コンスタントに毎日を過ごしている。

過去を振り返るノートも健在。

収入が安定すれば、アパートも視野に入れたい。

○20代の男性は、ほとんどお金を使わない生活をしている。生活態度としては申し分のない生活をしている。将来に対する希望、夢を語れるようになったらと思う。お金は使わないけど、それは買いたいものがない、またはお金を使いたくなる欲求がないだけで、将来に対する目標があって積極的に貯めているわけではないということ。以前は、将来お店を経営したいという気持ちも口にしていたが、最近はやわなくなった。

○まちなかキッチンとホテルでの仕事を両立させたいと思っていた男性は、自分の意見を持つこと、それを会議などで発言することを課題としている。そして、先月から続いている叱られっぷりの悪さ、怒られ慣れてないことで、叱られた時の態度が悪いこと。今月のこれらの課題に取り組んだ。弁当の注文取りで仲間との連携にもコミュニケーション力に問題あり。声のかけ方、確認の仕方、イライラしないことなどを自分の課題として取り組んでいる。

○言葉に気を付けている男性は、同時に人の意見を聞くことができないことを課題としている。また、自分が気付いたことを同僚にどのように伝えるかも訓練している。非難するように、不満として伝えるのではなく、依頼の形がとれるかどうかなど苦労している。

○70代の女性は、共有スペースのお花の手入れを丁寧にしてくれている。おかげで非常にきれい。月一回の通院も守られ、健康も支えられている。

○中国人の女性は、言葉の壁も多分にあるが、人との関わりで、自分ばかりだと相手に思わせてしまうことが多い。そのため、だんだん嫌がられ、嫌われ、孤立していく悪循環に陥る。わかってもらいたくて、さらに声が大きく、口調が激しくなるので、困ったものだ。取り組む課題として取り組ませているものの、なかなかうまくいっていないのが現状だ。

ただ、心優しく、働き者だということは、彼女のいいところだ。

○4月から共同生活に加わっている男性は、中学生の受験に向けた勉強を手伝っている。課題は、毎晩行う夜コペで、すぐに自分のやり方を持ち出すこと。本来の夜コペは、このやり方では大切にしているところが大切にできていないと注意をしながら、手伝ってもらっている。自分なりの方法をとらなければ、自分の色を出さなければ認めてもらえないと思っているようだ。しかし、使う側からすると、使う側が大切にしていることを大切にしてもらってこそ役に立つと評価するもので、そのギャップを説明しながら、勘違いに気づかせようと話し合っている。

○今月から共同生活に加わった男性は、山の畑で農作業をしてもらうことに。もともと野菜を作るのが好きで、生活の楽しみになっているようだ。

○先月から加わった女性は、まちなかキッチンの仕込みの方を手伝うことを始めた。

### **自殺予防活動**

#### ・フードバンク&フードドライブ

5人の男性が利用した。

今月は、各グルメシティへ取りに行く時間が取れず、3月初旬に各店舗のフードドライブとフードバンクの商品をいただきに回る予定。

#### ・放課後クラブ・コペルくんとコペルくん+

4月からコペルくんの活動を休止して寮を運営していく方針で動き出している。

これまで、子どもたちにしっかり宿題をさせて、基礎学力を身に付けさせていくこと、大人との関わりの中で礼儀作法や言葉遣い、遊び方

を学ぶ機会としてきた。3月末をもって次の働きへ移行していこうと考えている。

### ・夜コペ

中三生は、中学生生活最後の期末試験をがんばり、受験勉強に突入。

高校2年生も期末テストに向け連日勉強しました。

4月以降の夜コペについて。

4月以降、諒を始めるにあたって、夜コペも今まで曜日と時間を決めて、来るか来ないか待っている方法をやめて、都合の合う時間をそれぞれと決めて、マンツーマンでかかわっていく形にしていければと考えている。

自主学習を基本にコツコツと自分で勉強していく力を身に着けさせていきたい。

### ・相談電話

6日、13日、20日、27日に行なった。今月も1人の相談員が休まず電話相談にあたった。

### ・少年少女漂流隊



シーツを破って三つ編みをして、ロープを作って長縄跳びを楽しみました。

もしも災害時に2階にいたら、そして会談が使えない状態だったら、どうやってロープを作って、窓から下に避難しようかと考えました。

### ・はじめ人間自然塾



南部梅林に遠足に行きました。

梅干しの種飛ばしで、2位と3位に入りました。

### ・本の出版とドキュメンタリー映画



[www.bokushitogake.com](http://www.bokushitogake.com)

1月19日～3月8日、ポレポレ東中野にて上映中。大阪、京都、名古屋、福岡、横浜でも上映されることになった。

本はアマゾンで購入できます。

### ・ご報告

・8年間、当NPOスタッフとして働いてきた古畑普さんが、3月21日に結婚することになり、2月末で退職した。今後は、同じ和歌山県内の橋本市にある橋本バプテスト教会で夫となる平岡新人先生と共に牧師夫人として働くこととなります。神様の祝福が豊かにありますように。また、これまでの働きに心から感謝致します。